
なりきれば勇者！英雄への道筋

くろーばー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

なりきれば勇者！英雄への道筋

【Nコード】

N0903Z

【作者名】

くろーばー

【あらすじ】

女神に授けられしその秘宝は力を与える。悪を挫く勇者の力。だが、勇者の力を得るまでの、その道程は非常に過酷なものである――
いろいろな意味で。

今のとこと警告タグは保険です。

大陸最大にして最古の国グランドル王国の国宝「勇者の台本」

遙か昔……魔王軍に蹂躪され多くの国が滅びゆくなか魔王軍に抵抗を続けていた残るたった1つの王国グランドルにある日、女神が舞い降りた。

女神の名はフィリエータ。かの女神に関する資料はその殆どが戦時下に失われ今残っているのは美しいかんばせであったこと、背に流れる緩やかな髪は淡く虹色に輝いていたこと、そして当時グランドル王国の第2王子アストリオル殿下にある秘宝を授けたこと、ただそれだけ。

その秘宝こそがグランドル王国の国宝『勇者の台本』この台本の通りに行動する事で女神が授けし勇者の力を得て不定期に甦る魔王を葬り去る事が出来るそうだ。

グランドル王国の記録では初代勇者様の誕生は約600年前、当時16歳のアストリオル殿下が挑戦し、19歳の時に勇者の力を手に入れ魔王を討ち滅ぼした。

それからというもの、ここグランドル王国では勇者が誕生する以前は無かった『誕生日』を正確に記録、管理し16歳の誕生日を迎えると「勇者の台本」に挑戦することが法律で定められた。

理由は簡単、台本に『16歳の誕生日から数日後——』という一文が書かれているから。

過去に17歳になってから挑戦した人もいたらしいけど、いくら台本の通りに行動しても途中で起きるイベントが発生せず勇者の力が得られなかったらしい。なんて面倒臭い台本……

それはともかく今日、私は16歳になった。ついに秘宝「勇者の台本」に挑戦する。

正直なところ勇者なんて言われて魔物や魔王と戦うのなんて男の人がすることだっと思う。身体の作りが根本から違うんだもの。筋肉量だって体力だってどう頑張っても女の身では敵わない。

それなのに挑戦するのかって？……面倒なことに台本には性別の記載がされていないらしいんだよね。

過去の勇者様達は3人とも男の人だし、女が勇者に選ばれる確立はとっても低い。

しかも今の時代に女が勇者になりたいだなんていっても……プライドの高いお貴族様や男の子達が認めるはずが無い。万が一、勇者になれたってきつと酷い目に合わされる……挑戦しに行くだけでも少し……気が重い。

なーんて言いつつも挑戦しないって選択肢は無いんだけどね。

法律で定められているって事は当然守らなければ罰則があるということで……誕生日から6日経つても王城に行かなかった場合、7日目には強制連行され10年間の奉仕活動と罰金——貴族は最も豊かな領地が没収され、庶民は年収と同額かそれ以上の金銭——を支払わなきゃいけない。

庶民の生活は苦しい、16歳という体力のある子供の働き手を10年間も王城に預け、更に年収と同額の罰金を払うだなんて余裕は我が家には無い。だから本当に仕方がなく挑戦しに行くの。

台本への挑戦は既に庶民の間では成人の記念イベントとして扱われているし、ある一定の箇所まで進むごとに報奨金が出るらしいから、あわよくば仕事を休んでる期間の給金分くらい貰えたらいいなってね。

そんなわけで私は役所から送られてきた『挑戦状』を持って王城へ向かうのでした。

1（後書き）

父さんには「なにも誕生日当日に行かなくてもいいんじゃないか？」なんて言われたけど、もし挑戦者が多くて『数日中』に挑戦できなかつたら困るじゃないの。

子供るときから楽しみにしていて意気揚々と向かうわけじゃない。間に合わなかつたら罰金だから困るから、だから仕方がなく早く行くのよ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0903z/>

なりきれば勇者！英雄への道筋

2011年12月3日14時51分発行